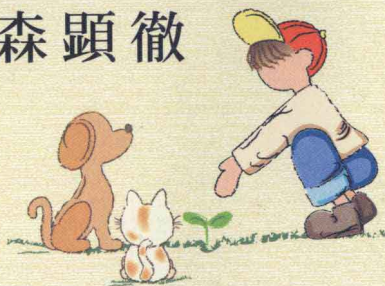


光に向かって

123の

こころのタネ

高森顕徹



1万年堂出版

〈著者略歴〉

高森 顕徹（たかもり けんてつ）

昭和4年、富山県生まれ。

龍谷大学卒業。

日本各地や海外で講演、執筆など。

著書『光に向かって100の花束』

『なぜ生きる』（監修）など多数。

〈書〉 深松海月

光に向かって123のこころのタネ

平成14年(2002)3月8日 第1刷発行

平成14年(2002)4月1日 第21刷発行

著 者 高森 顕徹

発行所 1万年堂出版

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-4-5F

電話 03-3518-2126

FAX 03-3518-2127

<http://www.10000nen.com/>

印刷所 大日本印刷株式会社

光に向かって
123の
こころのタネ

高森顕徹

1万年堂出版



光に向かつて

123
の
こころの
タネ

目次

- 1 休暇 20
- 2 先祖の恩を知る 21
- 3 しばらくの縁 22
- 4 “ありがとう”の言葉 23
- 5 真実 24
- 6 まいたタネ 25

- 7 慢心 26
- 8 明日のことを今日する 27
- 9 食べる意味 28
- 10 難しいのは… 29
- 11 根源的矛盾 30
- 12 笑やかな顔 31
- 13 いつでも己を磨く 32



14 欲にふり回されず、自己に逆らっていく 33

15 反省 34

16 やめなさい 35

17 親の恩 36

18 物品を購入する時 37

19 信ずる 38

20 ほんとうの味 39

21 焦って焦らず 40

22 佐渡オケサ 41

23 絶対にできない種まき 42

24 如来からの休暇 43

25 沈むな、浮かぶな 44

26 トンネルを掘った人たち 45



27 よりおそろしい慢 46

28 立ち向かう 47

29 一日生きる 48

30 見えないものへ 49

31 気がついたら… 50

32 誤解が解けたら… 51

33 苦しい道 52

34 功を成す 53

35 選り抜かれた最短の道 54

36 よい縁を求め、
よい縁を大切に 55

37 おねだり 56

38 欲こそ恐ろしい 57

39 そうじで一番大切なものは… 58





40 こそぞ 59

41 ものさし 88

42 難しいのは… 61

43 なぜ 82

44 成功 83

45 疑問 64

46 言い難い 85

47 やれやれの時 88

48 結婚して

面くらわないために… 67

49 我が身を滅ぼす 88

50 自因自果 88

51 自己との戦い 70

52 恋を失った時… 17

53 できぬ理由 72

54 ムダな努力 73

55 それぞれの境界で、
値が違う 74

56 平成（平和に成る） 75

57 やさしさばかりでは… 76

58 本当にこれでよいのか？ 77

59 子供を叱る時は 78

60 台本にないこと 79

61 道 80

62 気をつかう 81

63 藤の花 82

64 真実の厳粛さ 83



65 忍耐 84

66 秘訣 85

67 宿縁だもの 86

68 無形の宝 87

69 ひたすらタネをまく 88

70 すばらしい実 89

71 やまぬ風 90

72 草木は、平等に降り注ぐ雨を、不平等に受けて、平等に生きる 91

73 子孫への遺産はなにが最高か 三人の学者 94

74 金が欲しいと来た者はいたが盗られたことはない 97

75 ああ、そうであったか 謗る者をして謗らしめよ 101

76 川の水は一度に飲み干せぬ 104

77 小を軽視する者は大を失う 107

78 容姿がどんなに美しくとも

心の醜い者は嫌われる 110

79 親のオンはお父さんです。

親のメンはお母さんです 113

80 母の舌一枚が

子供の一生を左右する 116

81 掃いても掃いても

木の葉は落ちる 119

82 死なぬ祈禱をお頼みします

本音を吐いた八十翁 123

83 宝クジは自分に当たり

災難は他人に起こるもの
と知っている 127

84 金剛の信念は剣よりも強し

人は城 人は石垣 人は堀 131

85 昼は金持ちの男へ夜は美男へ

思うままにならぬ世の中 134

86 大事を成さんとする者は、

時には泣いて馬謖を斬る 138

87 街の辻で百人殺して来い

殺人鬼転じて勝者となる 141

88 こうまでしてくださらないと

分からぬ私でありました 145

89 お前はこの掌の

なかを飛んでいる 148

90

立派な人はカメを割る

聞き誤ると大騒動 151

91

チョビヒゲ紳士との相克

学生時代の思い出 154

92

誰か、善を求めようと思う人は、
この針に糸を通してくだされ 158

93

君のボタンもはずれているよ… 161

94

名誉か利益を得るために動いている
宰相の名答にうなずく天子 164

95

リスの暗示と大願成就
目的が大きいほど大事なこと 168

96

情けは人の為ならず 信長と家康 171

97

食べ物ばかりでなく、
人生なにごともし、八分が良い 174

98 近道の大好き人間

だが通らねばならぬ道がある 177

99 そちに預けた鳩は元氣か 180

100 夜の十二時以後毎日参上致します

倦まずたゆまぬ不屈の精神 183

101 正直を試される 186

102 内蔵助の不覚 189

103 さしちがつて全身ずぶ濡れ 194

コーモリ傘と刀

104 これじゃ、 197

片道分しかないじゃないの

105 身を捨ててこそ

浮かぶ瀬はあれ 201





106 下着の袖で火をつかみ
焦げ跡を見せぬ 204

107 シャアシャアと

しゃべくりまくる

丸ごと口だけの妖怪 207

108 他を生かす者は

真実に死ねる 210

109 他人の批評に一喜一憂しては

何事も出来ない 213

110 ひときわ美しい女の、道 216

111 私の身体は誰の物ですか

未来の医学に問われるもの 219

112 無心になった人間の

さまざま 222



113 人は多く酒で失敗する。

だから、俺は生涯飲まない 225

114 悲しむにあたらず

怒るにあたらぬ時節到来 229

115 ねびきのランは、

猫に小判、豚に真珠 236

116 年を増すごとに強くなる

オレがオレがの主張 244

117 夜遅くまで、公園で恋をささやく

カップルは、やがてウソの 247

118 彼を怒らせたら褒美をあげよう

怒りは敵と思え 251



119

母親が子供にご飯を食べさせる時は、
まず自分の口を開けて
与えるものです 254

120

天国からのお土産
今度は私がもらってくる 258

121

いかほど深き欲の穴
金の奴隷になりたくはない 261

122

へそが身体の
真ん中に居るわけ 265

123

今日は、お奉行さまご多忙で、
お調べがありません 268